令和3年度全国高等学校体操競技選抜大会

期日：令和3年3月20日（日）～21日（月）
場所：熊本市総合体育館
選手：石橋祐輔（２文C）　戎燿汰（２文C）
藤﨑飛向（１文C）　長渡士門（１文C）

結果：	**戎燿汰**	**個人総合**	**7位**
		あん馬	**優勝**
		つり輪・平行棒	**2位**
	藤﨑飛向	**個人総合**	**14位**
	長渡士門	**個人総合**	**28位**
	石橋祐輔	**個人総合**	**29位**

先日熊本で、選抜大会が開催されました。新２・３年生が出場するこの大会は、インターハイの前哨戦ともいえる大会であります。今年も各校の中心メンバーが熱い戦いを繰り広げました。わが校からは新3年、新2年ともに2人が出場し、上記の結果となりました。
それぞれが目指していた結果には届きませんでしたが、まだまだここから技も精度も仕上げていき、昨年に引き続き団体の全国優勝を成し遂げることができるよう頑張っていきたいと思います。

第60回NHK杯
「第32回オリンピック競技会（2020/東京）」日本代表決定競技会・日本代表選考競技会
「第50回世界体操競技選手権大会」日本代表選考競技会

期日：令和3年5月15日～16日
場所：長野市ビッグハット（長野）
選手：川上翔平（3文C）
結果：個人総合　　21位

今大会、男子は4月16日18日に開催された全日本選手権個人総合予選・決勝の合計得点上位30名、並びにその30名を除いた全日本個人予選と種目別トライアウトの中から各種目上位6名が出場しました。
また、男女ともに「第32回オリンピック競技会（2020/東京）」日本代表決定競技会・日本代表選考競技会、「第50回世界体操競技選手権大会」日本代表選考競技会となっていました。
オリンピックの代表選考会ということで、練習のときから会場には代表戦独特の空気が漂っていて、練習の時点で雰囲気にのまれてしまえばそのまま本番も失敗してしまう、そんなピリピリとした緊張感がありました。
川上君はその中で、高校生として唯一の出場にもかかわらず、堂々と演技をしました。あん馬での落下はありましたが、その他の種目では素晴らしい演技を行い、大健闘の21位で大会を終えました。

令和3年度　春季大会・大阪高校選手権大会　兼
全国・近畿大会予選会　兼
2021年度 大阪府民スポーツ大会
第76回 国民体育大会大阪府予選会

期日：令和3年5月23日（日）
場所：丸善インテックアリーナ大阪（サブアリーナ）
選手：板橋悠迅（3文C）　川上翔平（3文C）
北本千真（3文C）　長澤空良（3文C）
石橋祐輔（2文C）　戎燿汰（2文C）
川村一琉（2文C）　中田稔大（2文C）
藤崎飛向（1文C）　鬼塚翔（1文C）
長渡士門（1文C）
結果：団体総合
優勝【川上翔平・板橋悠迅・長澤空良・戎燿汰】
個人総合
優勝　川上翔平
2位　戎燿汰
4位　北本千真
5位　藤崎飛向
6位　川村一琉
7位　板橋悠迅
8位　石橋祐輔
13位　鬼塚翔
17位　中田稔大
18位　長渡士門
22位　長澤空良

今年は春季大会が延期となったため、今大会が初試合となりました。初試合でインターハイ・国体の選手選考がかかっているということで生徒たちはとても緊張をしていましたが、練習の成果を発揮し出場権を勝ち取りました。

全国高校総体
団体出場
川上翔平・板橋悠迅・戎燿汰・川村一琉
補欠　北本千真・長澤空良
個人出場　藤崎飛向

第75回全日本体操種目別選手権

期日：令和3年6月5日～6日

場所：高崎アリーナ（群馬）

選手：川上翔平（3文C）

結果：予選　平行棒　19位　予選敗退

鉄棒　6位　予選通過

決勝　鉄棒　4位入賞

種目別選手権は４月に行われた全日本個人総合選手権と種目別トライアウトが予選となっておりそれを通過した選手のみ出場できる大会です。必然とレベルが高くなり、出場選手のほとんどが大学生や社会人であり、高校生は出場するだけでも難しい大会でした。

そんな中、川上君は一つ目の平行棒でバーの横に落下するという珍しいミスを出します。

続く2つ目鉄棒ではスタート前に「もう何もないので楽しんでやってきます」と演技に向かいました。演技は大成功し高校生で唯一、鉄棒の決勝へ進出します。決勝も内心は緊張をしながらも、それを見せないほど堂々とした演技で大健闘の４位入賞を果たしました。演技の出来栄えを示すEスコアは8,766と決勝進出者８人中トップでした。

全日本からNHK杯、そして今回の種目別と高校生離れした活躍で、夏の勝負に向けて勢いがついたと思います。

次は夏の団体戦でキャプテンとしてチームを引っ張り全国制覇にむけて、がんばってもらいたいと思います。

また今回の最終選考で、昨年度卒業の北園丈琉選手が見事オリンピックの出場権を獲得しました。卒業後は徳洲会体操クラブに所属しながら練習拠点は清風高校で、梅本英貴先生と二人三脚で行っており全日本選手権での負傷から奇跡の復活での代表入りです！！！

第75回近畿高等学校体操競技選手権大会

期日：令和3年6月19～20日

場所：和歌山県立体育館

選手：板橋悠迅（3文C） 川上翔平（3文C）
北本千真（3文C） 長澤空良（3文C）
石橋祐輔（2文C） 戎燿汰（2文C）
川村一琉（2文C） 中田稔大（2文C）
藤崎飛向（1文C） 鬼塚翔（1文C）
長渡士門（1文C）

結果：団体総合優勝 【川上翔平・板橋悠迅・戎燿汰・川村一琉】

川上翔平	個人総合・あん馬・跳馬・平行棒・鉄棒	優勝
	つり輪	2位
戎燿汰	つり輪	優勝
	鉄棒	2位
	個人総合	3位
川村一琉	あん馬	3位
	個人総合	5位
板橋悠迅	あん馬	2位
	個人総合	6位
北本千真	跳馬	2位
	床	3位
	個人総合	7位
長澤空良	個人総合	13位
石橋祐輔	個人総合	16位
藤崎飛向	個人総合	18位
長渡士門	個人総合	26位
鬼塚翔	個人総合	36位
中田稔大	個人総合	45位

和歌山で開催されていた近畿大会が終わり、無事に団体・個人ともに優勝することができました。インターハイの団体優勝へ向けて、課題も見つけることができ、いい形で終わることができました。
ここからインターハイ優勝に向けて、全力で練習していきたいと思います。

第76回国民体育大会近畿ブロック大会

期日：令和3年7月18日（土）

場所：丸善インテックアリーナ大阪

選手：板橋悠迅（3文C） 川上翔平（3文C）
北本千真（3文C） 川村一琉（2文C）

結果：団体総合優勝

今大会は、国体の近畿ブロック予選で、男子少年の部大阪代表で本校から4人の生徒が選ばれました。
本国体の選考は今後行われ、そこで正式に国体大阪代表が決定します。

令和3年度全国高等学校総合体育大会

期日：令和3年8月9～11日

場所：リージョンプラザ上越（新潟）

選手：板橋悠迅（3文C）　川上翔平（3文C）
北本千真（3文C）　長澤空良（3文C）
戎燿汰　（2文C）　川村一琉（2文C）
藤崎飛向（1文C）

結果：団体総合

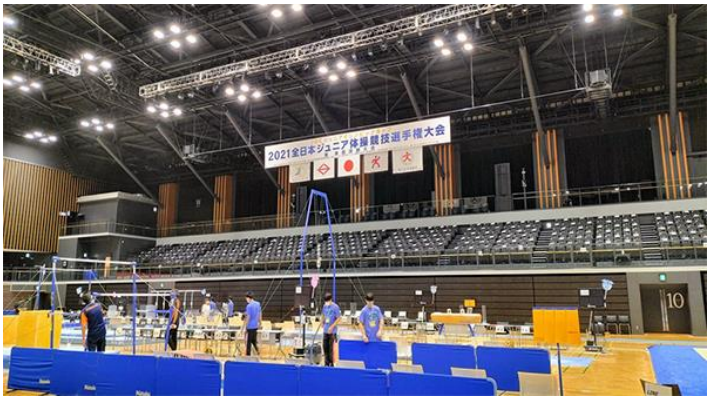
優勝【川上翔平・板橋悠迅・北本千真・戎燿汰】

個人成績

川上翔平	個人総合		優勝
	種目別	平行棒	優勝
		床・跳馬	2位
		つり輪	4位
		あん馬・鉄棒	5位
戎燿汰	個人総合		4位
	種目別	鉄棒	3位
板橋悠迅	個人総合		12位
	種目別	あん馬	3位
北本千真	個人総合		16位
藤崎飛向	個人総合		56位

東京オリンピックの興奮が冷めやらぬ8月、新潟で行われましたインターハイは見事団体優勝を飾りました。
予選では、硬い入りからミスが出てしまい1位通過の市立船橋高校を0.15差で追いかける2位での通過でありました。しかし、決勝ではサブ会場練習から3年生を中心に、声を出すなどチームの雰囲気をつくり、本会場へ移動し試合が始まってからは、順調に得点を重ねていきました。しかし、5種目目の鉄棒ではキャプテンでエースの川上君が痛恨の落下をします。ただ、今年のチームはここからが強く、休憩をはさみ最終種目の床、トップバッターの板橋君がミスを恐れない思い切った演技をして、北本君、戎君と繋ぎ、最後は川上君がまとめて、見事団体優勝を勝ち取りました。
昨年の「2020全日本高等学校体操競技選抜鯖江大会」から考えると他の学校とは勝負できるレベルには程遠く、一年間でとても素晴らしい成長をしてくれました。このままの勢いで、来週に横浜で行われる全日本ジュニア体操に向かい、今年の目標である団体3冠に向けて2冠目を勝ち取りたいと思います。

2021全日本ジュニア体操競技選手権大会



期日：令和3年8月14～17日

場所：横浜武道館

選手：板橋悠迅（3文C）　川上翔平（3文C）
北本千真（3文C）　長澤空良（3文C）
戎燿汰（2文C）　川村一琉（2文C）
北本爽真（中31）　小西智孔（中21）

結果：団体総合（男子1部）
優勝【川上翔平・板橋悠迅・北本千真・戎燿汰】

個人成績

川上翔平	個人総合		優勝
	種目別	平行棒　鉄棒	優勝
		床・跳馬	2位
		あん馬	3位
		つり輪	5位
戎燿汰	個人総合		6位
北本千真	個人総合		11位
板橋悠迅	個人総合		16位
川村一琉	個人総合		46位
長澤空良	個人総合		64位

個人成績（男子２部）

北本爽真	個人総合	48位
小西智孔	個人総合	69位

【男子1部】

インターハイが終わり、新潟より帰阪後すぐさま出発という日程で横浜に赴き調整に入りました。
各校連戦で疲労困憊の中、耐える演技が多い試合となりました。
清風はあん馬スタートで、優勝したインターハイの決勝と同じスタートだったので、縁起よく良いスタートがきれました。
種目をこなすごとに、動きが重たくなる中で、全員がチーム戦を意識し大過失なしという良い試合ができました。
我慢の演技を繋ぎながらなんとか6種目をやりきり、最終的には5点以上の大差で優勝することができました。
これでインターハイと合わせ団体２冠を達成し、個人総合は選抜大会から負けなしという素晴らしい結果を残してくれました。入学当初から弱いといわれていた今年の三年生が最後の最後に意地を見せ、後輩たちに良い流れを作ってくれたかと思います。

【男子2部】

中学生から二人の個人出場がありました。二人とも目標としていた結果には届きませんでした、大会にでて気付いたことを活かして今後の練習に励んでほしいと思います。

令和3年度大阪新人大会

期日：令和3年11月14日（日）

場所：堺市金岡公園体育館

選手：石橋祐輔（2文C）　戎燿汰（2文C）　中田稔大（2文C）

藤﨑飛向（1文C）　長渡士門（1文C）

福田司（1文C）　關川謙心（1文C）

結果：団体総合

優勝【戎燿汰・石橋祐輔・長渡 士門・藤﨑 飛向】

個人総合

優勝　戎燿汰　　権利保持者

2位　石橋祐輔　　選抜権利獲得

5位　長渡士門　　選抜権利獲得

6位　藤﨑飛向　　選抜権利獲得

8位　福田司

11位　關川謙心

15位　中田稔大

大阪新人大会が行われました。

試合結果は上記のとおりです。すでに権利を勝ち取っていた戎君に加え、新たに3名が権利を勝ち取りましたので、下記の4名が本校より来年3月に熊本で開催されます、選抜大会へ出場することとなりました。まだまだ伸びしろのある選手ばかりなので、冬季練習で力をつけて試合に臨みたいと思います。

応援よろしくお願いします。